

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り, 児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町491番地 電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451 E-mail:tamamoro-e@kofu-ymn.ed.jp

令和5年(2023年)1月31日

発行責任者 校長

進級、進学に向けて前向きに

一年で最も寒い時期は、大寒の1月20日から立春の2月4日までと言われる とおり、寒さの厳しい日が続いています。日中に日差しがあっても気温が上がら ず、暖かい春が待ち遠しく感じられます。



さて、今年度も残すところあと2か月となりました。各学年での学習や生活もまとめの時期となります。 子供たちは、日々の学習や学校行事など、様々な活動や体験を通して、心も体も大きく成長してきました。 年度末には子供たちみんなが「やるべきことは、やりきった」「楽しく、実り多い一年だった」と思えるよう に、学年の締めくくりとなるこれからの2か月間を前向きに取り組んでほしいと願っています。

そこで、始業式に話した「努力のつぼ(壷)」の話を紹介します。子供たちが目標をもって取り組み、くじ けそうになったときや、悩んだときには「努力のつぼ」の話を話題にしていただけたら幸いに思います。そ して、この壺があふれる瞬間を体験し積み重ねていくことが、自分に自信をもち、次のチャレンジへのエネ ルギーになります。子供たちを信じ、しっかり支えていきたいと思います。今後もご支援、ご協力をよろし くお願いいたします。

「努力のつぼ」



【なわとびに取り組む様子】

皆さんが、何かを始めようとか、今まで出来なかったことをやろ うと思った時に誰もが、神様から「努力のつぼ」をもらうのだそう です。そのつぼには、いろいろな大きさがあります。「毎日元気に 挨拶をしよう」と頑張るときにはきっと、小さなつぼでしょう。「何 かの大会で優勝したい」と頑張るときにはとってもとっても、大き なつぼになると思います。つまり、このつぼは、人によっても大き さが違うのです。「逆上がりができるように頑張っている」友達は 出来たのに、自分はまだ出来ない・・・。なぜなの?となります よね。こうなるのは、同じ事を頑張っていてもつぼの大きさが、み んなそれぞれ違うからです。

でも、その人が壺の中に一生懸命『努力』を入れていくと、少しず つたまっていって、いつか『努力』があふれるとき、できるようになるということです。だから、休まず に壺の中に努力を入れていけば、いつか、必ずできる時がくるのです。

そして、その壺は、その人には見えないのです。ですから、自分はこんなに頑張っているのに、なぜ結 果がでないのかと思う時があるでしょう。それは、努力のつぼの大きさがわからないから、努力をどれだ け続ければいいかわからないからです。あと1日努力すればできるようになる、そんなふうにわかればい いのですが、それはわかりません。ですから、あきらめないことです。あきらめたら終わりです。努力を しているときは、本当に辛いものです。努力をしても、努力をしても、結果が出ないと限界を感じてしま うことでしょう。でも、「努力のつぼ」が無くなることはありません。あと1日でできるようになってい るかもしれないのに、あきらめたら何にもなりません。これまで苦労して頑張っている努力の分は、間違

いなくそのつぼにたまっています。少しずつですが、確実にたま っているのです。ですから、あきらめずに、休まずにつぼの中に 努力を入れていけば、いつか必ずあふれるときがきます。このこ とを信じて、あきらめずに何かに挑戦していきましょう。

学校だよりのHP版を ご覧いただけます。



無言清掃で校舎と川を磨く!

本校では、無言清掃に取り組んでいます。この取組の目的は、児童の ①「黙って集中して活動する力」②「自分で考え、行動できる力」③「きれいな環境から、豊かな心」を育てることです。各教室を見ていると、 学年に関係なくどの児童も真剣に取り組んでいる姿が印象的です。最近は、無言で隅々までしっかりと掃除をしている児童の姿も目立ちます。 この間、校内巡視をしていると次のような場面が見られました。「今から



【無言清掃の様子】

無言清掃を始めます」の挨拶から始まり、事前に決めた分担や手順にしたがって、黙々と掃除を進めていきます。一通り掃除が終わると、「プラスワン清掃」を行います。ふだん掃除できないところや汚れのひどいところをきれいにします。終わりのチャイムが鳴ると、反省会を行って清掃終了です。

清掃中、静かに時間が流れます。だから、「ありがとう」「きれいになったね」「しっかりできているね」という言葉を無言清掃のじゃまにならないように小さな声で子どもたちに伝えています。無言で清掃を行うことで、心まできれいになることを願っています。

plote plote

● 日頃の訓練が大切!

火災を想定した避難訓練を実施しました。地震が発生した時には、避難経路図に沿って近くの出口から外に出ますが、火災が発生した時には避難経路が変わってきます。火災が発生すると火災報知器が作動し、階段付近にある防火扉が閉まります。

そのため、避難するときには階段に設置されてい

る防火扉から避難しなければなりません。火災発生場所によって、使用する階段が変わりますので、臨機応変さ、柔軟さが必要になってきます。落ち着いて行動することをみんなで確認しました。



【避難訓練の様子】

心をこめて!校内書き初め大会

1月12日に、校内書き初め大会を行いました。子供たちは、冬休み前から練習を重ね、3 \sim 6年生は毛筆、 $1\cdot$ 2年生は硬筆で、お手本をよく見ながら行いました。

子供たちは真剣な眼差しで半紙や書き初め用 紙にむかい、書き終えると満足感、達成感でいっぱいの笑顔でした。「字は心」まさに、その字

には子供たちの凛とした 心があらわれていまし た。今年一年、毛筆のは らいのように、子供たち が伸びやかにたくましく 育ちますようにと、願っ て止みません。



【校内書き初め大会の様子】

● プログラミング教育って?

令和2年度から小学校において、「プログラミング教育」が導入されています。「プログラミング教育」の目標は、プログラミングの技能を習得したりすること自体をねらいにするのではなく、自分が意図する一連の活動を実現するために、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらいいのか、また、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図

した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力を育成することです。具体的には、算数や理科等の学習の中で、一人一台端末を活用して学習を進めています。



● たまもろ元気プロジェクト!

体育委員会の主催による「たまもろ元気プロジェクト」の取組がスタートしました。子供たちは、「みんなでたのしく体を動かし、寒い冬もげんきに過ごそう!!」を目標に、学年の壁をこえ、元気に校庭で遊んでいます。今回は、「Sケン」です。体育委員会と対決し、勝利したチ

ームには賞状も贈呈されるため、勝負に熱中したり、一生懸命チームの仲間を応援したりする姿が見られました。校庭には子供たちの笑顔と歓声でいっぱいになりました。



【Sケンの様子】